

平成 27 年 7 月 14 日

オンデマンド印刷（出版物）における 入稿仕様策定のための確認項目と その解説

Ver.1.0

一般社団法人 電子出版制作・流通協議会

オンデマンド制作流通部会 編

解説書作成の目的

電子書籍元年と言われた 2010 年以降、スマートフォンやタブレットの普及とともに電子書籍市場は順調に伸張しており、2014 年には電子出版の総売上が 1,000 億円を突破するまでになりました。

現在、紙の本と電子書籍のハイブリッド、同時出版(サイマル化)が進んでおり、これらに対応して販売機会損失の減少を目指すためにも、出版社様、製作会社様及びリアルと電子の流通各社様におけるスムーズなコミュニケーションが必要となっております。同時に、今までは既存の出版物を消費者のリクエストやニーズにあわせて制作する形態が多かったオンデマンド印刷が、新刊の出版物においても活用されるケースも出てまいりました。

電子書籍制作・流通協議会では、このような新たなオンデマンド印刷のニーズに着目し、「オンデマンド制作流通部会」を発足し、課題の集約とその対策を検討してまいりました。

部会内の討議において、「出版社様より、オンデマンド印刷の入稿の仕方がわからない、製作会社によってまちまちであると言う意見をいただいた」、「製作会社様は、小部数をスムーズに制作するための入稿の仕方等に関して出版社様にご理解いただき、一層の需要を喚起したいと考えている」などの意見が出ました。

そこで、出版社様と製作会社様の間でスムーズな流れを実現するため、現有の設備や仕組みを踏まえ、「まずは出来ることから」の考えのもと、両者間の個々の仕様策定のために必要な入稿確認項目を製作する側の視点からピックアップし、それぞれの項目についてご理解頂くための解説書を作成することといたしました。

既に各企業様にて個々のビジネスが展開されるなか、出版物におけるオンデマンド印刷はさまざまな要望に対応しております。しかし、現存の仕組みを活かし、その仕組みのなかで情報として最低限必要とされる項目について共通認識をいただくことは、ビジネスをより効率的に拡大いただくことにつながると考えます。そのような観点で、製作会社様がオンデマンド印刷の入稿仕様書を策定される際の参考資料として、この『確認項目一覧』を活用頂ければ幸甚でございます。

なお今回は、①出版社様から製作会社様へデータ入稿されるケースと、②出版社様から製作会社様へ底本が入稿されるケースについて検討しており、既に新刊においてサイマル化が行われているケースについては除いております。

また、これらの入稿に必要な情報を整理することは、今後展開される可能性があるデジタルファーストの展開においても有効となると考えております。

今回作成しました『確認項目一覧』及び『その解説』が、皆様のコミュニケーションを円滑にすることで、ビジネスの一助となれば幸甚でございます。

電子出版制作・流通協議会 技術委員会 オンデマンド制作流通部会

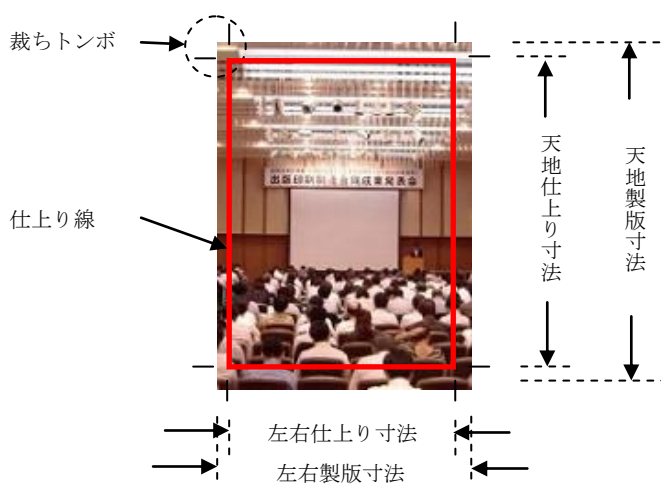
目次

用語解説	5
確認すべき項目一覧（データ入稿）	6
確認すべき項目一覧（底本入稿）	7
データ入稿、底本入稿に共通した入稿時の確認項目の解説	8
基本情報	8
製造仕様	8
データ入稿時の確認項目の解説	9
【基本情報】	9
【入稿データ情報】	9
<入稿メディア>	9
<添付見本>	9
<PDF の内容>	9
【製造仕様】	11
<プリンター出力色数>	11
<用紙>	11
<製本仕様>	12
<加工>	12
底本入稿時の確認項目の解説	13
【基本情報】	13
<表紙の取り扱い>	13
【底本情報】	13
<製本仕様>	13
<底本の種類>	13
<断裁の可否>	13
<見開き絵柄の有無>	13
<断ち切り絵柄の有無>	13
<底本のサイズ>	14
<付き物のサイズ>	14
【スキヤニング・画像修正】	14
<特色などの取り扱い>	14
<拡大・縮小の有無>	14
【差し替えの有無】	14
<奥付の取り扱い>	14
<ISBN の取り扱い>	14
【製造仕様】	14

<プリンター出力色数>	14
<用紙>	15
<製本仕様>	15
<加工>	15

用語解説

用語	概要
底本	本をデジタル化する際に基となるスキヤニングを行う本。
部品	本ガイドでは、表紙、本文、カバー、スリップ、帯など、本を構成する内容物の総称を指す。
付き物	カバーや帯・スリップなど、本体（表紙を含む）の部品。
製版寸法	本にする際の断裁では誤差が出るため、断裁代を含めて実際の製品寸法より大きくプリントする必要がある。この実際の寸法より大きな印刷をするための版の寸法。
仕上り寸法	本の実際の寸法。
裁ちトンボ	本にする際の断裁の目安になる印で、断裁した際に残らない領域にプリントされる。
仕上り線	断裁した際に文字が切れたり、絵柄が切れたりしないか確認するための架空の線。この線がプリントされると、断裁後残ることがある。
セキュリティ設定	PDF が容易に変更できないように、パスワードや証明書によって暗号化すること。
ICC プロファイル	Adobe を含む 8 社のベンダーが、開発を進めたカラーマネージメントシステムの標準デバイスプロファイル。
見開き絵柄	2 ページに渡って、ページの境界を挟んで配置されているひとつないしは複数の絵柄。
断ち切り絵柄	仕上り線まで途切れずに続いている絵柄。



確認すべき項目一覧（データ入稿）

オンデマンド印刷(出版物)における入稿仕様策定のための確認項目一覧(データ入稿) Ver.1.0

大項目	中項目	小項目	記入欄	記入例	
基本情報	品名				
	制作社・者名				
	入稿日				
	納品希望日				
	仕上がりサイズ			〇〇mm×〇〇mm	
	ページ数			〇〇ページ	
	アキ(右・左)		<input type="checkbox"/> 右アキ <input type="checkbox"/> 左アキ		
	付き物	カバーの有無	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
		帯の有無	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
		スリップの有無	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
		その他	<input type="checkbox"/> あり() <input type="checkbox"/> なし		罫あり(ハガキ) など
		上記有の場合の支給方法			〇月〇日〇〇宛宅急便送付
ファイル名	表紙				
	本文				
	カバー				
	帯				
	スリップ				
	付き物				
	その他				
大項目	中項目	小項目	記入欄	記入例	
入稿データ情報	入稿メディア			CD/DVD、伝送入稿	
	添付見本	有無	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
		体裁見本と色調見本などの別			体裁見本と色調見本各1部あり など
	PDFの内容	PDFのバージョン	<input type="checkbox"/> PDF1.3(推奨) <input type="checkbox"/> 左記以外		
		PDF作成アプリケーション			InDesign、illustrator ver.〇.〇 など
		オーバープリントの設定	<input type="checkbox"/> ブラックオーバープリント <input type="checkbox"/> 有効(必須) <input type="checkbox"/> 白抜きオブジェクトのオーバープリント <input type="checkbox"/> なし(必須)		
		フォントの埋め込み	<input type="checkbox"/> 埋め込み(推奨) <input type="checkbox"/> アウトライン(推奨) <input type="checkbox"/> 左記以外		
		製版寸法			天地〇〇mm、左右〇〇mm(塗り足し〇〇mm)
		仕上がりサイズ			仕上がり〇〇mm×〇〇mm
		表紙PDFファイル数	<input type="checkbox"/> 1ファイル(推奨) <input type="checkbox"/> 左記以外		
		本文PDFファイル数	<input type="checkbox"/> 白ページを含む本文全ページ1ファイル(推奨) <input type="checkbox"/> 左記以外		
		ページの貼り位置指定	<input type="checkbox"/> センター配置(推奨) <input type="checkbox"/> 左記以外		
		ページデータの向き	<input type="checkbox"/> 全ページ統一(推奨) <input type="checkbox"/> 左記以外		
		裁ちトンボ	<input type="checkbox"/> あり(推奨) <input type="checkbox"/> なし		
	仕上り線	<input type="checkbox"/> なし(必須)			
	セキュリティ設定	<input type="checkbox"/> 設定なし(必須)			
	ICCプロファイル	<input type="checkbox"/> 埋め込みなし(必須)			
特色・RGBカラー	<input type="checkbox"/> 使用なし(必須)				
画像解像度			〇〇dpi		
製造仕様	プリンター出力色数	表紙	表: / 裏:	表: 4色(モノクロ) /裏:0色 など	
		本文		4色、モノクロなど	
		カバー		4色、モノクロなど	
		帯		4色、モノクロなど	
		スリップ		4色、モノクロなど	
		その他		4色、モノクロなど	
	用紙	表紙		銘柄/斤量	
		本文		銘柄/斤量	
		カバー		銘柄/斤量	
		帯		銘柄/斤量	
製本仕様	綴じ仕様		上製、無線綴じ、中綴じ、など		
	背幅		〇〇mm		
加工	表紙の加工		簡易クロスPP、簡易マットPP		
	カバーの加工		簡易クロスPP、簡易マットPP		
	帯の加工		簡易クロスPP、簡易マットPP		
	スリップの加工		ビク抜き		
	その他の加工		折込がある など		
その他					
連絡事項					

※(推奨)の記述がある項目で、推奨以外にチェックを入れる場合には、必ず製作会社にご相談ください。

確認すべき項目一覧（底本入稿）

オンデマンド印刷(出版物)における入稿仕様策定のための確認項目一覧(底本スキャン) Ver.1.0

大項目	中項目	小項目	記入欄	記入例	
基本情報	品名				
	制作社・者名				
	入稿日				
	納品希望日				
	製品仕上がりサイズ			〇〇mm×〇〇mm	
	製品ページ数			〇〇ページ	
	製品アキ(右・左)		<input type="checkbox"/> 右アキ <input type="checkbox"/> 左アキ		
	表紙の取り扱い		<input type="checkbox"/> データあり <input type="checkbox"/> データなし		
製品付き物	カバーの有無 帯の有無 スリップの有無 その他		<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
			<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
			<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
			<input type="checkbox"/> あり() <input type="checkbox"/> なし	〇あり(ハガキ) など	
			上記有の場合の支給方法	〇月〇日〇〇宛宅急便送付	
大項目	中項目	小項目	記入欄	記入例	
底本情報	製本仕様			上製、並製、中綴じ など	
	底本の種類		<input type="checkbox"/> 文字もの <input type="checkbox"/> 絵柄もの <input type="checkbox"/> コミック		
	断裁の可否		<input type="checkbox"/> 断裁可 <input type="checkbox"/> 断裁不可		
	見開き絵柄の扱い		<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
	断ち切り絵柄の扱い		<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
	底本のサイズ			天地〇〇mm、左右〇〇mm	
	付き物	カバー			天地〇〇mm、左右〇〇mm
		帯			天地〇〇mm、左右〇〇mm
スリップ				天地〇〇mm、左右〇〇mm	
その他				ハガキ:天地天地〇〇mm、左右〇〇mm	
スキヤニング・画像修正	特色などの取り扱い		<input type="checkbox"/> 4色扱い <input type="checkbox"/> 1色扱い		
	拡大・縮小の有無 (底本と製品サイズが異なる場合、拡大・縮小が必要)		<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
差し替えの有無	奥付の取り扱い		<input type="checkbox"/> 既存の奥付を残して新規奥付を追加 <input type="checkbox"/> 既存の奥付を修正して新規の奥付にする <input type="checkbox"/> その他()		
	ISBNの取り扱い		<input type="checkbox"/> 既存のISBNを流用する <input type="checkbox"/> 新規のISBNを付加する <input type="checkbox"/> その他()		
製造仕様	プリンター出力色数	表紙	表: / 裏:	表: 4色(モノクロ) / 裏: 0色 など	
		本文		4色、モノクロなど	
		カバー		4色、モノクロなど	
		帯		4色、モノクロなど	
		スリップ		4色、モノクロなど	
	用紙	その他		4色、モノクロなど	
		表紙		銘柄/斤量	
		本文		銘柄/斤量	
		カバー		銘柄/斤量	
		帯		銘柄/斤量	
	製本仕様	スリップ		銘柄/斤量	
		その他		銘柄/斤量	
		綴じ仕様		上製、無線綴じ、中綴じ、など	
	加工	背幅		〇〇mm	
表紙の加工			簡易グロスPP、簡易マットPP		
カバーの加工			簡易グロスPP、簡易マットPP		
帯の加工			簡易グロスPP、簡易マットPP		
スリップの加工			ピックアップ		
その他の加工			折込がある など		
その他 連絡事項					

データ入稿、底本入稿に共通した入稿時の確認項目の解説

基本情報

品名、制作社（者）名、入稿日、納品希望日、仕上りサイズ、ページ数、アキ（右アキ、左アキ）、付き物の有無など製造する本の基本情報を記載してください。なお、納品希望日については、製作会社にお問い合わせいただき、無理のない納期設定をしてください。

製造仕様

表紙、本文、付き物などの色数、用紙や製本仕様などの製造情報を記載してください。特に付き物の後加工については、製造設計上重要となるため、必ず記載をお願いします。

※以下、各項目の記入方法や推奨設定は**網掛けの太字**で表します。その記入の必要性や設定が推奨される理由は細字で表します。

データ入稿時の確認項目の解説

【基本情報】

入稿される各部品のファイル名は、必ず事前にお伝えください。

どのような部品がどんなファイルで入稿されるか事前に把握するため。

差し替えファイルを入稿される場合には、バージョンが入ったファイル名を付けて入稿してください。

複数のファイルが入稿された場合でも、修正後のファイルを容易に特定するため。

【入稿データ情報】

<入稿メディア>

入稿データの送付メディア情報を、たとえば「CD」、「DVD」、あるいは「伝送入稿」などのように具体的に記載してください。

事前に入稿媒体を特定することで、入稿時の見逃しなどを防ぐため。

<添付見本>

出力見本となる添付見本の「有」「無」をチェックしてください。また、体裁確認用と色調確認用の2つに分かれている場合には、その旨も明記してください。

添付見本の紛失防止と、体裁見本と色調見本の混同による品質事故防止のため。

<PDF の内容>

[PDF のバージョン]

PDF1.3 を推奨設定とします。

その他のバージョンでは、意図しない出力結果になる場合があるため。

[PDF 作成アプリケーション]

事前に PDF を制作したアプリケーションの種類とバージョンを記載してください。

PDF を作成したアプリケーションによっては、意図しない出力結果となる場合があるため。

[オーバープリント設定]

ブラックオーバープリントを有効にしてください。

ブラックオーバープリントを有効にしないと、文字の周りに白付きが発生することがあるため。

白抜きオブジェクトにオーバープリントの設定は不可です。

上記設定をすると、背景色が出て白抜きにならない場合があるため。

[フォントの埋め込み]

フォントは埋め込み設定をするか、アウトライン化してください。

埋め込みやアウトライン化をしていないと、プリンターの保有フォントに依存してフォントが変化したり、化けたりすることがあります。

[製版寸法]

製版寸法は仕上りサイズより大きくしてください。通常、背景がある場合には、仕上りより天地左右 3mm ずつ背景を伸ばして製版してください。

データを仕上りサイズで作成すると、断裁の際に“白”が出ることもあるため。
(ただし、製作会社によって伸ばす寸法が異なりますので、実際に出力する製作会社にお問い合わせください。)

[仕上りサイズ]

仕上りサイズを記入してください。

PDF データと製品の仕上りサイズが異なる場合がありますので、確認のため。

[表紙 PDF ファイル数]

表紙は本の厚みの分(背幅)と表 1 (おもて表紙) と表 4 (うら表紙) を一枚絵柄としたひとつのファイルで入稿してください。

複数のファイルに分かれていると、追加の費用が発生するため。詳しくは、製作会社にお問い合わせください。

[本文 PDF ファイル数]

白ページを含めて本文全ページを 1 ファイルにして入稿してください。

1 ファイルにすることにより、白ページを含めて誤ったページ順で出力する危険を回避するため。

[ページの貼り位置指定]

原則として、センター配置としてください。

センター配置以外で入稿されると、位置の微調整で追加費用が発生するため。

[ページデータの向き]

全ページ統一の向きでファイルを作成してください。

縦、横など向きの異なるページを混在して入稿すると、修正する追加費用が発

生するため。

[裁ちトンボ]

裁ちトンボは付加してください。

断裁時の仕上り位置を目視で確認する際に必要となるため。

[仕上り線]

仕上り線はデータ上には入れないでください。

プリント時に印字されてしまうと断裁後に残ることがあるため。

[セキュリティ設定]

セキュリティ設定はしないでください。

パスワードの運用などが煩雑となり無用なやり取りが増え、場合によっては思わぬ納期遅延につながるため。

[ICC プロファイル]

ICC プロファイルは埋め込まないでください。

埋め込まれていると意図しない色調再現になる場合があるため。

[特色、RGB カラー]

特色や RGB カラーは使用しないでください。

プリンターが CMYK で再現するため、特色データや RGB カラーデータを入稿すると意図しない色調再現となることがあるため。

[画像解像度]

300～350dpi としてください。

出力機の特性上、左記以外の解像度（高くても低くても）では、印字品質に支障が出る場合があるため。

【製造仕様】

<プリンター出力色数>

各部品の色数を記載してください。

意図されている出力の色数を出力時に確認するため。

<用紙>

必ず各部品の用紙銘柄、斤量を記載してください。

用紙違いなどのトラブルを防止するため。ただし、使用できる用紙については、

必ず実際に製作する会社にお問い合わせください。

<製本仕様>

上製、並製、中綴じなど具体的な製本仕様を記載してください。

事前に製本仕様を確認して準備を行うため。ただし、製作会社により対応する製本仕様が異なる場合があるため、必ず実際に製作する会社に対応する製本仕様についてお問い合わせください。

<加工>

表紙や付き物などに加工がある場合には、表面加工の有無、加工材（グロス、マット）、断裁・抜きなどの加工仕様について記載してください。

ただし、対応する加工は製作会社で異なりますので、必ず実際に製作する会社にお問い合わせください。

底本入稿時の確認項目の解説

【基本情報】

製品のサイズやページ数、アキや付き物などの基本的な情報を記載してください。
作業の段取りを取るためにも、事前に製造する製品の情報を把握する必要があるため。

<表紙の取り扱い>

表紙をデータ入稿するか否かについて、チェックしてください。
表紙のデータを新たに入稿いただけるかどうか、事前に把握するため。

【底本情報】

<製本仕様>

底本の綴じ方法（上製、並製、中綴じなど）の情報を記載してください。
底本をスキャニングのため断裁する場合があります、元の製本仕様を記録しておく必要があるため。

<底本の種類>

底本の種類について、「文字もの」、「絵柄もの」、「コミック」のいずれかにチェックを入れてください。
底本の種類により実施する作業が異なることがあるため。

<断裁の可否>

スキャニング時の底本の解体について、「可」「否」のいずれかにチェックを入れてください。
通常は、品質確保のためにも底本は解体しますが、貴重な本など解体が不可の場合には、解体せずにスキャニングする必要があるため。

<見開き絵柄の有無>

あらかじめ見開き絵柄について、「有」「無」のいずれかにチェックを入れてください。
通常とは異なる断裁の方法を取る必要があるため。

<断ち切り絵柄の有無>

断ち切り絵柄の有無について記載してください。

断ち切り絵柄がある場合には、そのままスキャニングして印字すると断裁時に“白”が出る場合がありますので、その処理方法などについては実際に製作する会社にお問い合わせください。

<底本のサイズ>

確認のため、底本の本文の仕上りサイズを記載してください。

<付き物のサイズ>

確認のため、底本のカバーや帯などの各部品の仕上りサイズを記載してください。

【スキャニング・画像修正】

<特色などの取り扱い>

底本が2色などの場合、1色扱いでスキャニングするか、4色扱いでスキャニングするかを指定してください。

出力機は4色で再現しますので特色の印字はできないため。また、製作会社によっては4色対応できない場合がありますので、詳細は必ず実際に製作する会社にお問い合わせください。

<拡大・縮小の有無>

底本と異なる製品サイズとなる場合には、拡大・縮小の有無を記載してください。

【差し替えの有無】

<奥付の取り扱い>

流通の都合により新たに奥付を付与する場合、底本にある既存の奥付を残して新規の奥付を付加するか、元の奥付を修正して新規の奥付にするかについて記載してください。

<ISBNの取り扱い>

底本にあるISBNを流用するのか、新規のISBNを付加するのか、などについて記載してください。

【製造仕様】

<プリンター出力色数>

各部品の色数を記載してください。

意図されている出力の色数を出力時に確認するため。

<用紙>

必ず各部品の用紙銘柄、斤量を記載してください。

用紙違いなどのトラブルを防止するため。ただし、使用できる用紙については、必ず実際に製作する会社にお問い合わせください。

<製本仕様>

上製、並製、中綴じなど具体的な製本仕様を記載してください。

事前に製本仕様を確認して準備を行うため。ただし、製作会社により対応する製本仕様異なる場合があるため、必ず実際に製作する会社に対応する製本仕様についてお問い合わせください。

<加工>

表紙や付き物などに加工がある場合には、表面加工の有無、加工材（グロス、マット）、断裁・抜きなどの加工仕様について記載してください。

ただし、対応する加工は製作会社で異なりますので、必ず実際に製作する会社にお問い合わせください。

以上